

令和7年度 学校関係者評価報告書

宮崎県立明星視覚支援学校

<p>【教育目標】 一人一人の障がいの程度と発達段階に応じた教育を行い、障がいによる様々な困難を克服するために必要な知識、技能、態度を養い、心豊かに明るく、社会で自立し、たくましく生き抜くことができる幼児児童生徒を育成する。</p> <p>【学校経営ビジョン】 幼児児童生徒の自立と社会参加、ICT等を活用し生活の質の向上に向けて、何事にも前向きに捉え失敗を恐れずに挑戦し、自ら考え、社会でたくましく生き抜く力の育成を目指し、きめ細やかな教育活動を実践し、保護者や地域から信頼される「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す学校づくりを進める。 【自ら考え、一歩前に踏み出し、人と関わりながら社会で生きていくために育成したい力】 ①思考力 ②主体性 ③コミュニケーション能力 ④体力 ⑤感謝する心</p>				
<p>【評価基準】 4：期待以上である 3：ほぼ期待どおりである 2：やや期待を下回る 1：改善を要する</p>				
重点目標及び努力事項	学校職員 (平均値)	保護者 (平均値)	学校評議員 (平均値)	学校評議員の意見
<p>目標1 幼・小・中・高・寄宿舎までの一貫した教育の推進</p>				<p>・全体像がわかるよう系統性を可視化することで、先生方がやりがいを実感できるのではないかと。長くこの学校にいて、専門的な指導を受けられていることを「強み」にしないといけない。 ・「幼・小・中・高・寄宿舎までの一貫した教育の推進」「進路開拓の推進」について教職員が課題を感じていることから、1つの軸として「社会に出たときに必要なスキルを身につける」という基準にしてみるのはいかがでしょうか？あえて明文化することで、「一貫した」キャリア教育であると、先生方も実感を持ちやすくなるのではないのでしょうか。 ・「社会に出たときに必要なスキルを身につける」という観点で言うと、ヘルスキーパーの開拓を進める中で、ヘルスキーパー以外にどんなことがどの程度できるのか、どんなふうに自分で自分のことを説明できるのか、ということは、将来働くことを考えるととても大事なスキルである。そのスキルを幼～高・寄宿舎で一貫して教えている、という認識を学校として持つことで、先生方の自己評価も伴ってくるのではないかと。 ・専門的に充実した教育を提供し、学業以外の様々な事にも取り組まれており、素晴らしい。 ・個々の生徒に合わせた指導がなされており、生徒の能力を十分に生か</p>
ア 幼・小・中・高・寄宿舎一貫した発達段階に応じたキャリア教育を推進する。	2.7	3.2	3.5	
イ 一人一人の実態に応じた根拠に基づく幼・小・中・高一貫した教育課程の充実を図る。	2.8	3.3		
<p>目標2 視覚障がい教育としての専門性・専門的指導力の向上</p>				
ア 視覚障がい教育の専門性及び授業力の充実を図る。	2.9	3.1	3.8	
イ 授業力向上に努め、学力向上を目指す。	2.9	3.2		
ウ 組織的な研修・研究の充実を図る。	3.0	3.3		
<p>目標3 進路指導の充実</p>				
ア 一人一人の進路実現に向けた積極的な進路指導を展開する。	2.8	3.1	3.3	
イ 職場体験学習、現場実習及び施設等見学の充実を図る。	2.9	3.3		
ウ あはき師国家試験の合格に向けて積極的に支援する。	3.1	3.4		
エ 県と連携してヘルスキーパー等の進路開拓を推進する。	2.8	3.2		

オ 卒業生のフォローアップに努める。	2. 7	3. 2		している。 ・朝市のような機会への参加継続を期待する。児童生徒にとっての良い経験だと思う。 ・保健所の3歳児健診等の機会に学校案内チラシなどを置いていただくなどできると良いのでは。 ・県内唯一校として他県校との情報交換は必須でしょう。担当教員同士で電話やメールで相談しあえる状況があるのならば、学習活動にも進路開拓にも大変有益であろうと思います。 ・限られた人数の中で、いかに多様な経験をさせるか、それぞれの学部、寄宿舎においてよく工夫されていた。特に寄宿舎の避難訓練は、いろいろな状況を想定して具体的に実施できたのがよかった。 ・対外的な発信が多くできていたと感じました。それによって達成感も多く持つことができ、それぞれの自信につながっていくと思います。今後もこの積み重ねを続けていってほしいです。 ・全国大会等の職員旅費のご苦労お察しします。校長の旅行命令で、旅費は寄付金を管理する実行委員会組織から旅費別途支給という形は採れないでしょうか。 ・働き方改革について、紙をなくすというだけでなく、早めに資料を準備してもらい、目を十分通した状態で会議を行うようにすると意見が出しやすいと思う。事務業務の改善に、学校経営方針に生成 AI の活用をぜひ、入れていただきたい。
目標 4 安心・安全な学校生活の保障				
ア 様々な危機に対応できる危機管理体制の充実を図る。	2. 9	3. 5	3. 5	
イ 計画的な防災・避難訓練、防災教育を強化する。	3. 0	3. 5		
ウ 教育活動全般における安全な教育環境に係る安全点検を徹底し、改善に努める。	2. 9	3. 5		
目標 5 地域社会とつながる学校の推進				
ア 医療・福祉・教育・労働等の関係機関と連携した教育活動を推進する。	2. 9	3. 5	3. 8	
イ 交流及び共同学習の充実を図る。	3. 0	3. 5		
ウ 宮崎県内の視覚障がい教育におけるセンター的機能を強化する。	3. 1	3. 5		
目標 6 教職員の働き方の改善				
ア 各会議のスリム化と効率的な運営方法の工夫に努める。	2. 6	/	3. 5	
イ 職員間のサポート体制を構築(学部を超えた指導など)する。	2. 8			
ウ 「学び続ける教師」として校内外での研修を推進する。	2. 9			